絵入

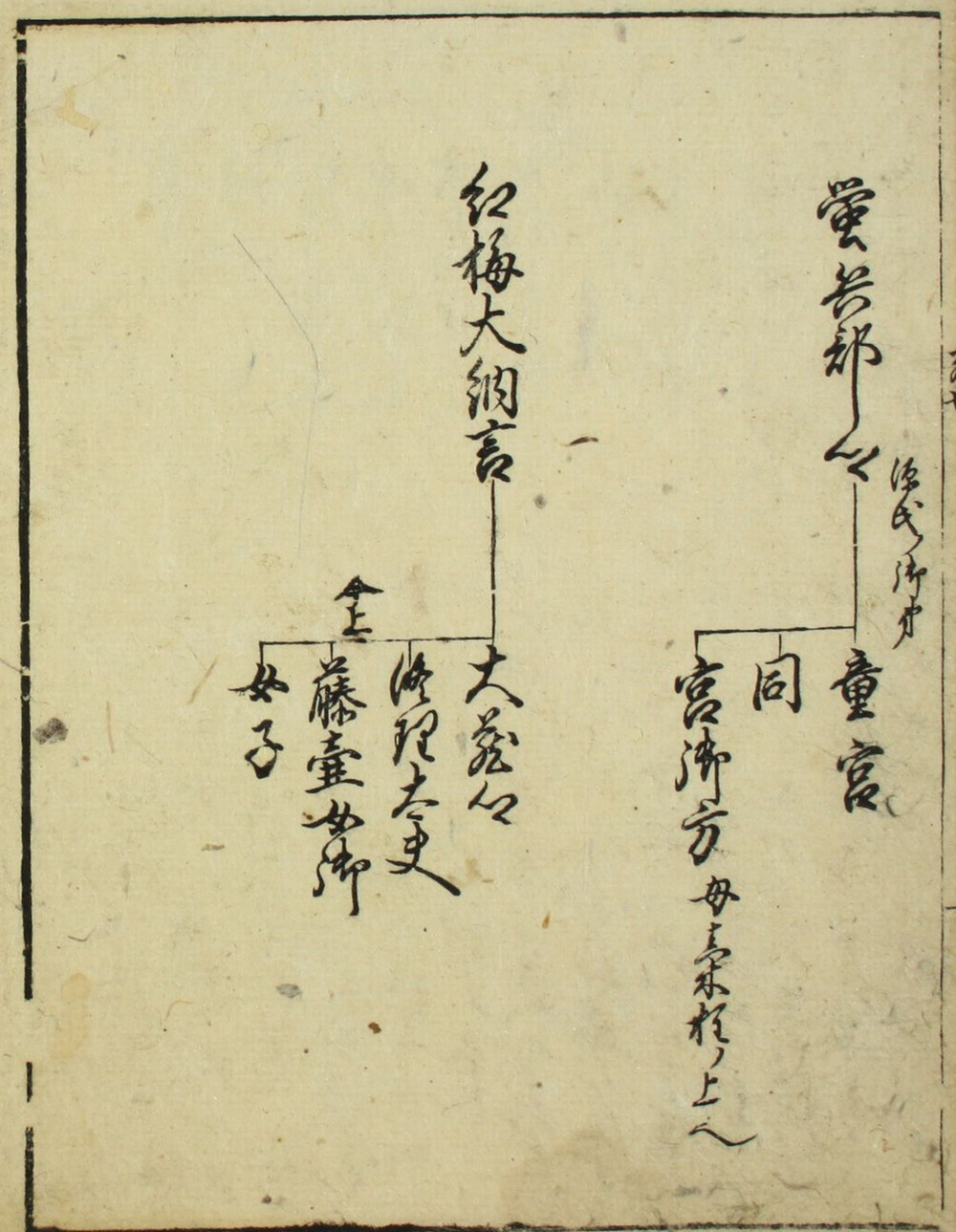
わさみ源氏

七

源氏物語

きりつぼ 上
同 下
はゝきゞ
うつせみ
ゆふがほ
わかむらさき
すえつむはな
もみぢのが
はつね

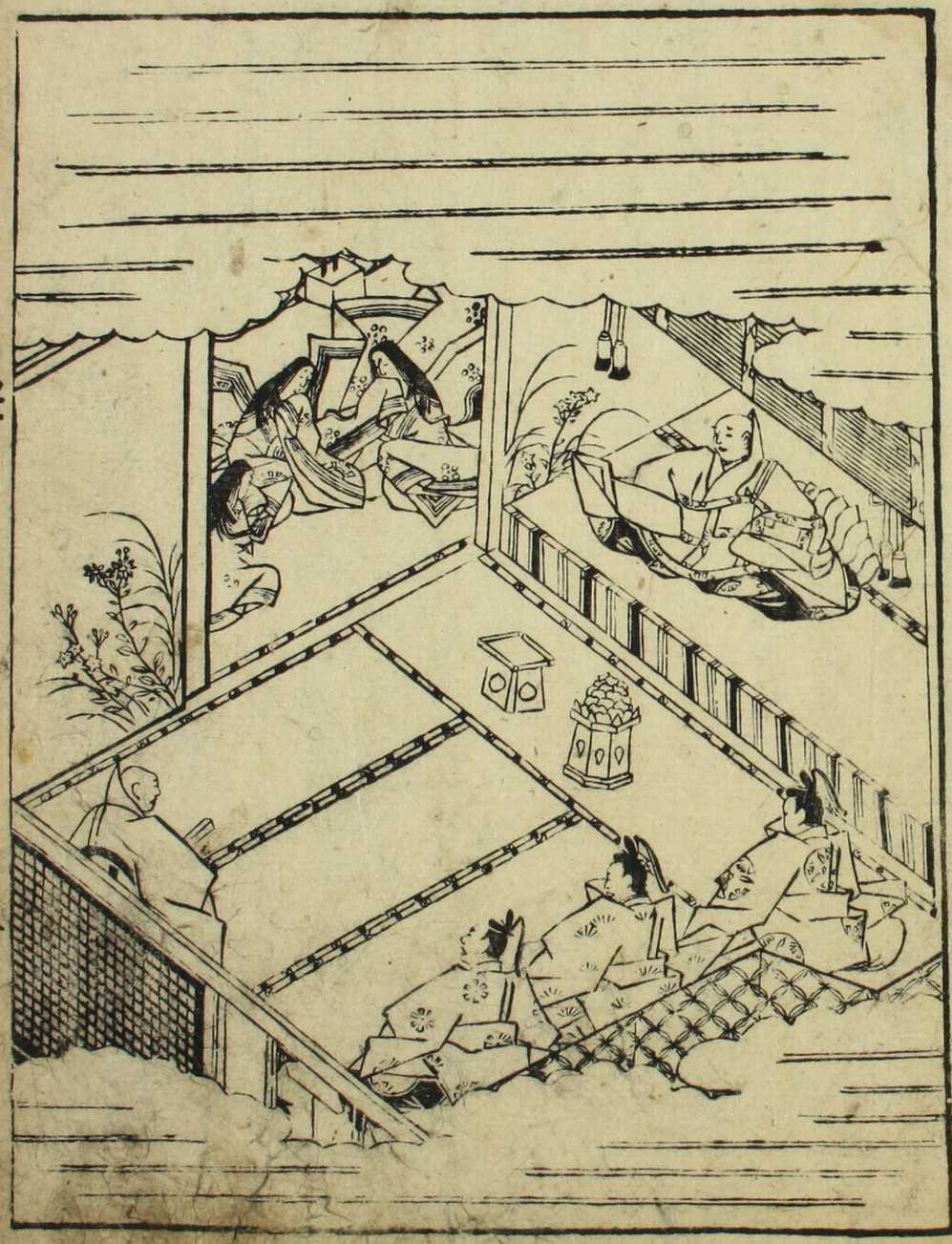
内閣文庫

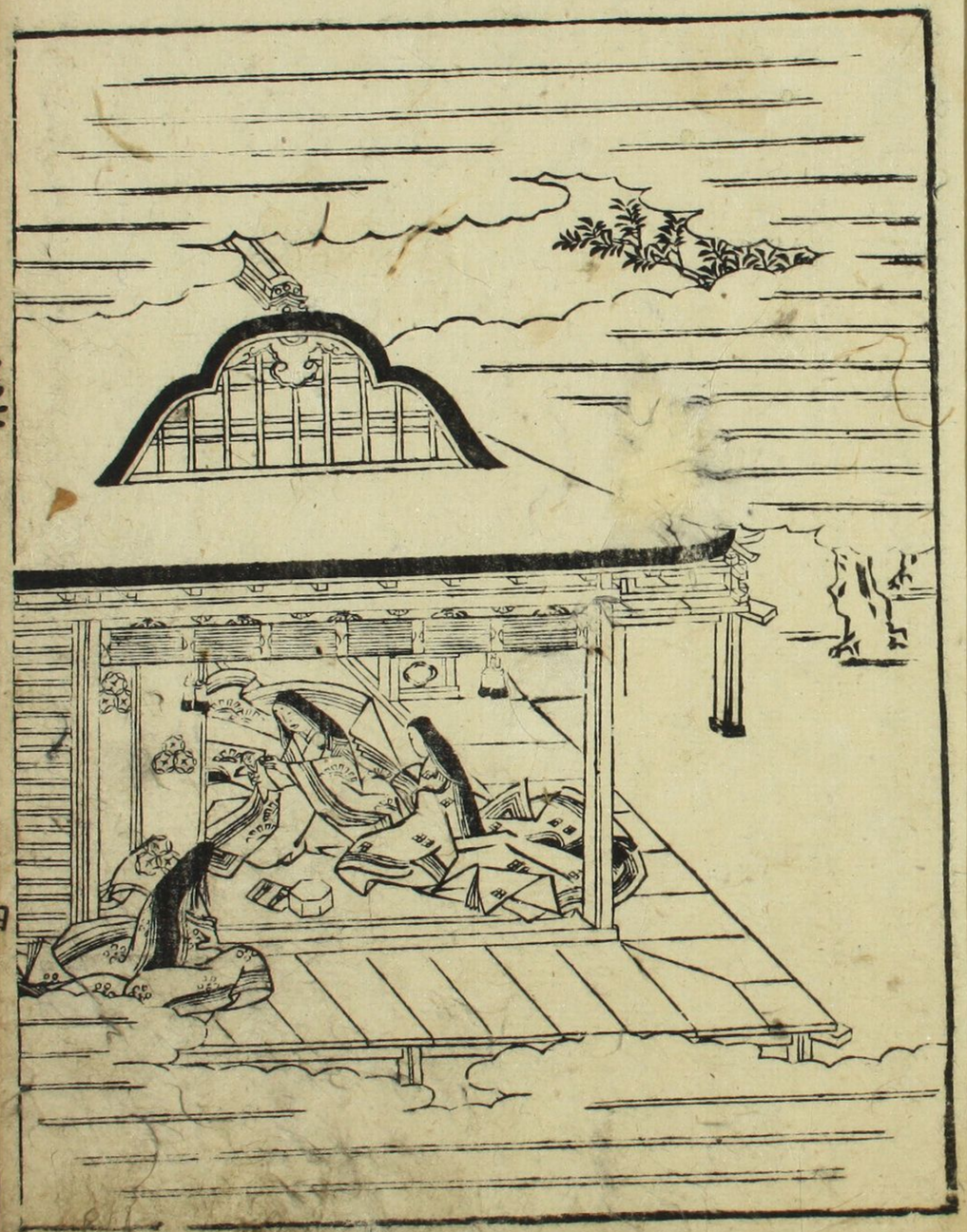


わかむ上 源氏五十より第一まで

院乃みてゝ御母さゝ見ゝ給ひて返事ゆかしきもとせ
給ひあるこゝろひの乃みてゝ御めを給へらい書給へ女天
さらにこゝろ乃毋に如ことけ文式給れあるけまうんせを
あんゝ御ゝ給ゝ御ゝ御ゝ御ゝ拙てゝこゝをゝ皆ひこゝゝ
御ゝ給ゝせゝ給ゝ御ゝ山ゝ御ゝ御ゝ尝ゝ給ゝこゝせゝ給ゝ乃ゝ御ゝ給ゝ

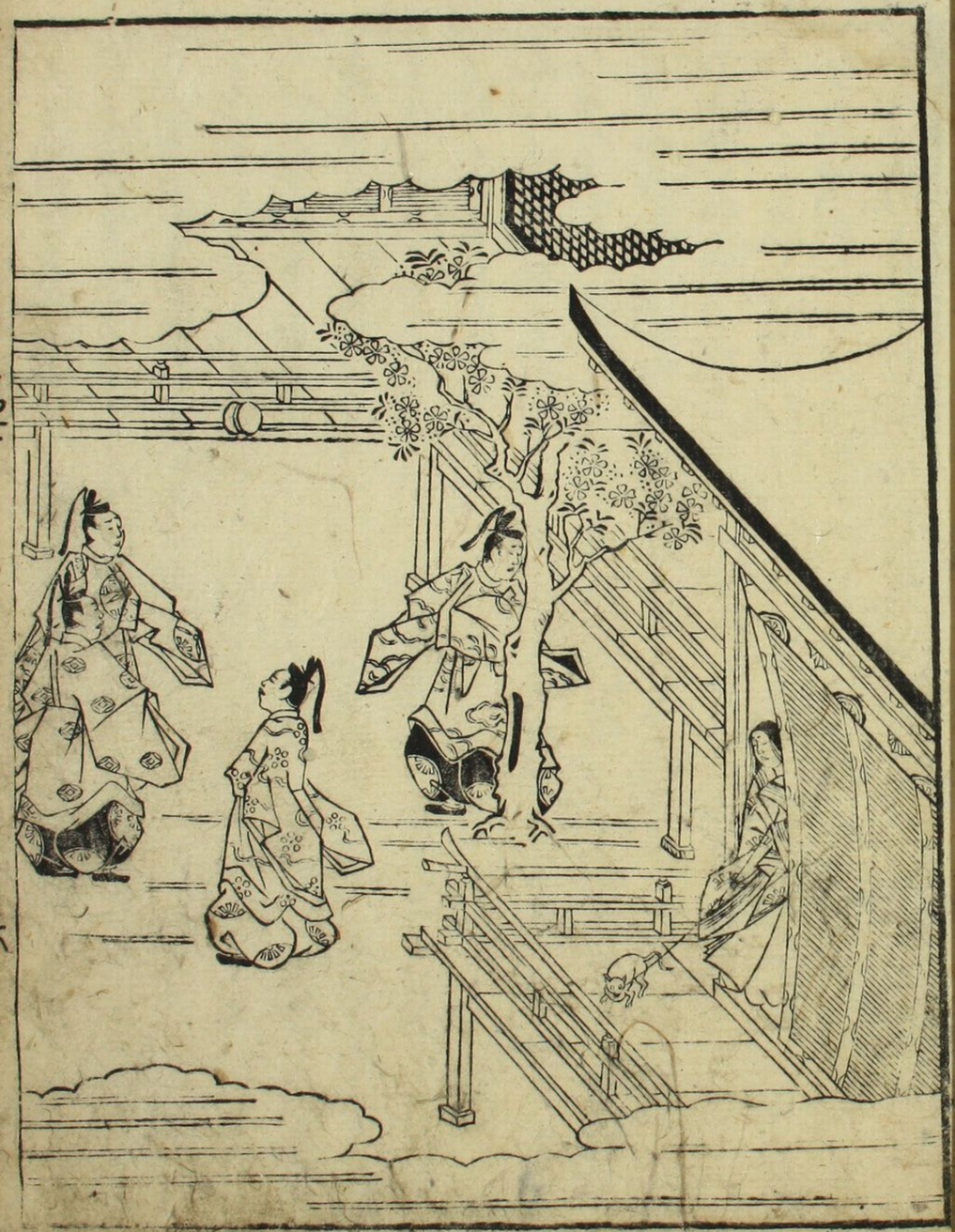
院の朱雀院の御ゝ見へ　御母ハこゝゝきてんの大殿へ
御方つゝこゝゝ御ゝこゝせゝ給ゝ中納言ゝ給ゝ給ゝ給





[illegible]

二月小後のみてきうの法寺にうつりひめ[illegible]
[illegible]
[illegible]



あらくとをたしは月乃さきうにかなたあうしのこうへくとまつ
せをうちまとくよはいうこのこうろひとく書乃ろまれしあ
いんうしれ二月乃美のさあ海こまれはいとひとうひあ
れうんうろへれのこまこうひなし
ひろ出ろ暁ちろくはくはいろ今てんこの美ろこうすう
秋をこうんばれのあ月ほとそこうみまとうのへ
こそこんくもはちんのこにかしこあてなれうこ月の
をこうろうろ日六条院よりをうんのこうこまうは
拾こうしまふ大殿なしこうの町よりくあまるまめて
あこひくこくこうをくあまこへこうんこうらみの
来れうこうんでんの来おとてあくはの舟来れとけ之
のこへ大殿ろくはれこうんあうのひて花のうけしはまよ
ひまくよこうんうこれあしうこうこ姫くなうこうう箱
はれの言れやくはこうこれうはんあけてこうこ花とこしれて
みこうれやの言へこ乃おまくへのうんとのつまく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

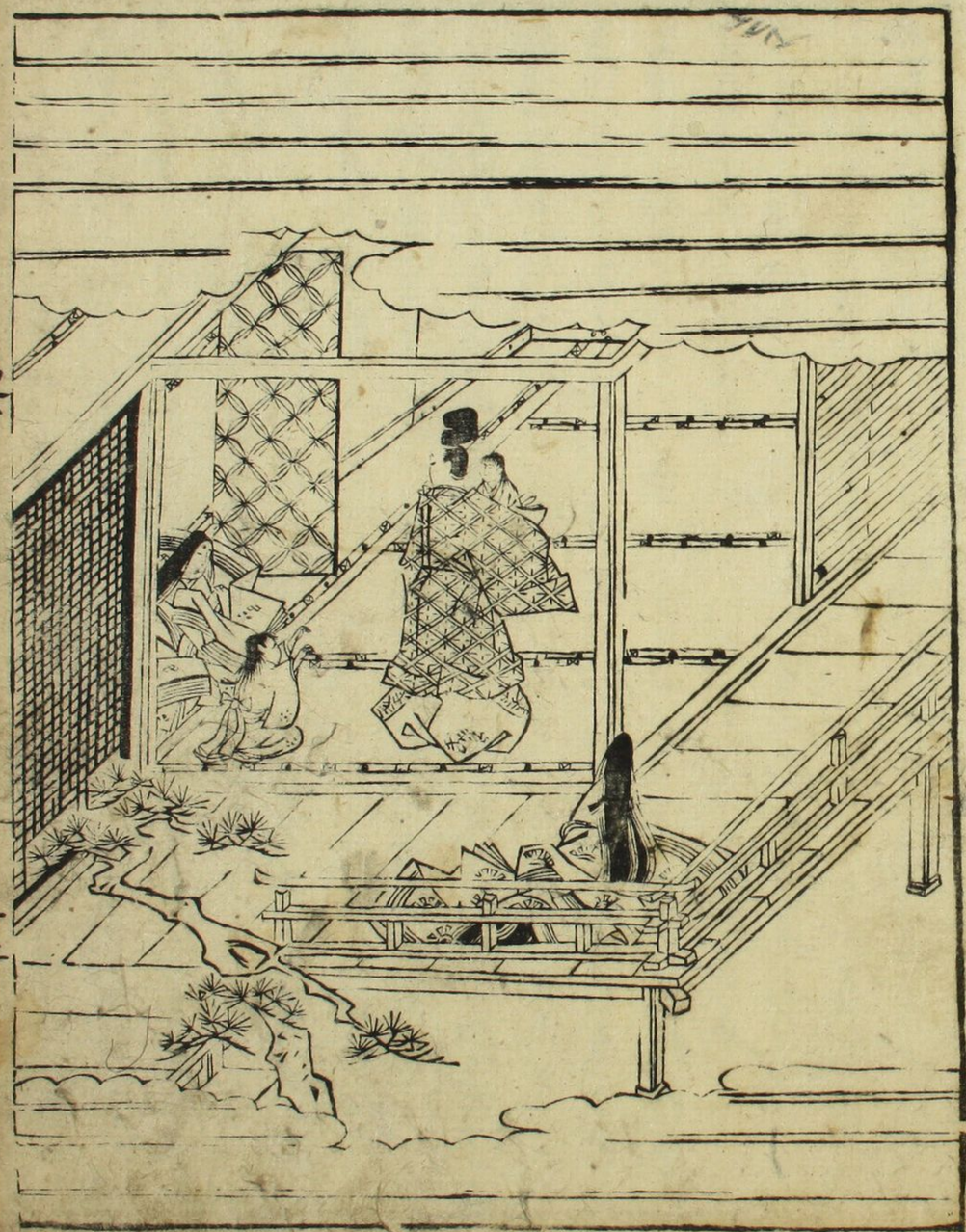
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



初　去来　源氏八宇　去うり秋まて

ふるとんのうこれうやこまのこうて年もとりぬるあるこふ
のうるまのりうけうとうやまひのひまのりうてんく
立の花のつるに如こうえ系てせらう
今ハうてすりへん物もむとのまたぬるひのるとやのうこん
うてきふやうりあこうひんめうてあらうこれうしたこ
てつこふうれ身ようだうれのたうれのあそうこていよ
くちあへくえあうこうて立のこうて行ようこうひのまふ
ひううとあうこれにうてせなりてせてうこんうてもうこ
面ーゆふ身あもうこうこうこうひうこううまふ女こ
もうこうのとのうしてあうのうとあうとうれけず
つううとうりまううひせあうれうれうれふふ
立うひてうこうやうこうのまふこれうとうひみうこうこうりうこうな
以来うれ元九物こうこうあうりと立ハうあれ
如こうこの秋ハうやうて月ハうりあうこれうこうこれ

うこうこうりあうこうれおうこうれ
えのうこうこうりうこうきふうこ
こうのうれ紙ようまれうりてのうこれ
ふうこうこうこうこうこうこうこうこ
ふうれ傍とあこうこうこうひてのうれ
こうれ傍とあこうこうこうこうこうこ
こうのあこうこうこうこうこうこうこ
物こうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこう
こうれ門みうこうこうこうこうこうこ
ふのこうこうこうこうこうこうこうこ
条花こうこうこうこうこうこうこうこ
やうこうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

横尾
門谷文庫